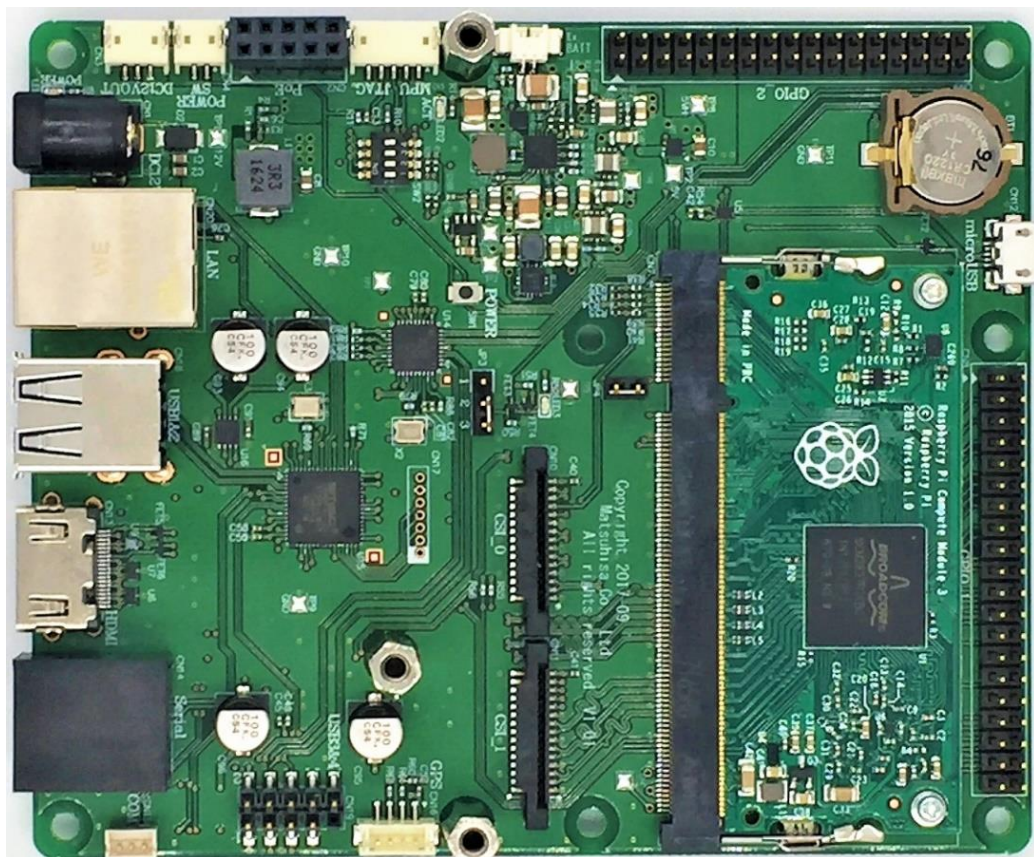


# 現行の市販ラズベリーパイとの比較



	標準RaspberryPi 3	開発キャリアボード
LAN	対応(PoEなし)	対応(PoE対応) 12V/5V/3.3V取り出し対応
WiFi	対応(省略不可)	規格品はめ込み可能(選択・省略可能)
セルラー3G/LTE	HAT or USBドングルの追加が必要	規格品はめ込み可能(選択・省略可能) 産業用3G/LTEモジュール利用可
他通信規格	HAT、または、USBにて対応	規格品はめ込み可能(選択・省略可能) PCIe x2 / ZigBee x2 / 他シリアル x 4
通信の各国対応	各国電波法による制限あり	各国規格品でほぼ対応可能
金属ケース対応	ほぼ不可能(内蔵アンテナのため)	対応可能(外部アンテナ可能)
リアルタイムクロック	なし(単体で時刻は使えない)	あり
消費電力	1.4A程度(最大2.5A USB給電含む)	0.7A(SoC最大負荷) + 利用する機能分
電源管理	外付けが必要	対応(間欠動作・時間指定起動など)
ストレージ	microSD x 1	eMMC4GB + SSDorSD(データ用・任意)
カメラ	CSI2接続 x 1	CSI2接続 x 2(動画・静止画同時対応)
USBバス	TypeA x 4端子	TypeA x 2端子、miniPCIe、ロック付き端子、専用HATでUSBピン割り当て
耐振動特性	コネクタやHAT利用が脆弱	自動車やドローンなどの通常の使用範囲で耐性あり
その他	機能追加時にUSB Type-Aソケット、または、HATによる拡張が必要となり、容積肥大化と安定性に難がある。	面積がやや大きくなるが、標準RP一枚分の高さで容積が小さくなる。障害原因になりやすいコネクタの多くを堅牢な規格品で対応できる。-40℃～+85℃で動作保証

# 産業用RPiボード拡張性

